



5/29 福岡県総合防災訓練が行われました

平成29年7月の九州北部豪雨以降、5年連続で発生した豪雨災害の経験を踏まえ、複数自治体が被災したことを想定し、篠栗町と須恵町で福岡県総合防災訓練が行われました。須恵町では、健康広場とあおば会館を主会場に、住民参加型訓練として、自助・共助の観点から、避難行動要支援者の避難訓練や、避難所における新型コロナウイルス感染症対策、ペット帯同者の受け入れ、初期消火などの訓練を実施しました。



6/2 浅田 等氏 旭日単光章を受章

令和4年4月1日付けで、浅田 等氏が高齢者叙勲旭日単光章を受章されました。高齢者叙勲とは、春秋叙勲で勲章を授与されていない功労者に対し、年齢満88歳に達した機会に勲章が授与されるものです。

浅田氏は、昭和50年5月から平成7年4月まで5期20年の永きにわたり、須恵町議会議員として住民の福祉と町政の発展に尽力されました。

昭和62年から平成3年までは町議会議長として、地方行政における問題に積極的に取り組み、議会活動を通じて、地方自治の発展などに大きく貢献されました。長い間、須恵町のためにご尽力いただいた功績に敬意を表します。



浅田 等氏(左)と平松町長(右)

6/8 副町長に稲永 修司氏 再任

6月7日付の任期満了に伴う副町長人事で、稲永修司氏の再任が須恵町議会本会議で同意されました。

稲永氏は「責務の重さに改めて身の引き締まる思いです。町民の皆様が『住んでよかった』と思えるまちづくりを実現するため、平松町長を補佐し、職員一丸となって誠心誠意努める所存です。」と抱負を述べられました。

■稲永副町長の略歴

昭和54年に須恵町職員として採用、子ども教育課長、教育委員会次長、須恵町会計管理者などを歴任。平成30年6月から副町長に就任。



副町長に就任された
稲永 修司氏

5/21 中学校体育会

町内小中学校で体育会、運動会が行われました。いずれも晴天に恵まれ、汗ばむ陽気となりました。体育会、運動会は、新型コロナウイルス感染症の影響で2年間中止が続いていましたが、コロナ前に比べて出場種目を減らしたり、学年ごとに時間を設定したり、観覧の保護者数を制限したりするなどの対策がとられました。

リレーでは必死で走る姿が、ダンスでは笑顔で楽しく踊る姿や真剣な表情で踊る姿も見られました。



須恵中学校



須恵東中学校



須恵第一小学校



須恵第二小学校



須恵第三小学校

5/25 HUG研修が開催されました

須恵第三小学校区コミュニティ「ふれあいレインボー」主催の「HUG研修」が、ふれあいレインボーコミュニティセンターで開催されました。HUGとは避難所(H)運営(U)ゲーム(G)のことで、災害が発生した場合の避難所運営をゲームを通して学べるものです。ペットを連れて避難してきた人がいたらペットの避難場所はどのように書くかなどカードに書かれたテーマをもとに、よりよい避難所運営ができるようグループごとに話し合いながらゲームを体験していました。



5/28 アビスパ福岡 須恵町応援デー開催

ベスト電器スタジアムで「Jリーグ アビスパ福岡VS浦和レッズ 須恵町応援デー」が開催されました。

当日は、多くの町民が観戦し、J1の舞台上で戦うアビスパ福岡の選手たちを拍手で応援しました。また、開会行事や試合運営の補助を須恵高校・須恵中学校・須恵東中学校のサッカー部員が務めました。

観戦チケットの一部を「株式会社ふくや」より寄贈していただきました。これにより、プロサッカー選手を目指す須恵町サッカー協会の子どもたちが、間近で迫力あるプレーを観戦することができました。

後日、平松町長から「株式会社ふくや」へ感謝状を贈呈しました。



アザレアFC 谷口 樹樹さんによる花束贈呈



株式会社ふくや 取締役経営サポート室長
長田 裕一氏(左)と平松町長(右)